

小村 亜希子さん（島根県出雲市出身）  
2016年度2次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ラオス 職種：看護師  
2017年12月10日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 良い病院へ 一緒に知恵

私はラオスに看護師として派遣されている。任地はこの国の真ん中、カムアン県ターケー郡にある県病院。私はここで手術室看護師として活動している。

途上国の病院と聞くと、どんなイメージを持たれるだろうか。「物が不足している」「不衛生」「医療者の技術不足」などマイナスなイメージがあるのではないかと。派遣される前は、私も同じように考えていた。

しかし、実際に病院を見てみると、物は十分にそろって

おり、病室も不衛生甚だしいというわけではない。医療者の技術は良くもないが悪くもない。マイナスなことだけではなさそうだ。では、なぜ私は派遣されたのか。

それは、たくさんの物があっても「外国語で書かれていて、使い方がわからない」「物をどのように片付けていいかわからない」「口伝で教わったことが、実際に良い方法か悪い方法かわからない」と困っている状況があるからだ。

そのような状況を改善するため、私はラオス人のスタッフと日々「ああでもない」「こうでもない」と片付け方を一緒に考えたり、実際に手術に入って技術的な指導をしたりしている。

ゆっくり、まったりすることが大好きなラオス人たちとの仕事は大変だ。目に見える結果は少ない。日本に帰りたきもある。けれど私は、とても優しく人懐っこいラオス人と、とてもすてきな自然と、民族によってさまざまな美しい織物のあるラオスが大好きだ。残り1年間、頑張りたい。



みんなであいまいと昼食をとるラオス人スタッフ。  
料理は皆で持ち寄り、分けあう